平成３０年度　喜多方市立塩川小学校　学力向上グランドデザイン

教育目標

「自分をみがき、人とのかかわりを大切にして、たくましく生き抜く児童を育成する。」

〇本気で学ぶ子（確かな学び）　〇思いやりのある子（豊かな心）　〇きたえる子（たくましい体）

目指す児童像

〇自ら学び、考え、表現できる児童　〇進んで人とかかわり、豊かな心をもった児童　〇めあてをもち、ねばり強く心身をきたえる児童

＜考えや想いを**は**っぴょうできる子ども＞　＜気持ちが伝わる**あ**いさつができる子ども＞　＜**も**くひょうを持ってやり遂げる子ども＞

研 究 主 題

「活用力を育み高める算数科の授業の創造　～主体的・対話的で深い学びを通して～」

喜多方市の学校教育

全ての子どもの「生きる力」を育むコンピテンシー（資質・能力）教育

１　自己啓発力の育成

２　学ぶ力の基となる基礎的な資質・能力の育成

３　勤労観、職業観及び職能の基本的資質・能力の育成

４　共助、協働の態度及びコミュニケーション能力の育成

喜多方の３つの共通実践（最重要）

●学ぶ意欲を高めるとともに、「まとめ」を確実に行い、学ぶ実感を高める。

●学級力を可視化し、教育力のある学級集団をつくる。

●「なかたくタイム」で自己効力感を高める。

＜小学校＞「なかたくタイム」の実践

＜中学校＞敬称を付けて呼ぶ

（生徒⇔生徒、教師⇒生徒）

授業力（全教科で）

＜活用力（思考力・判断力・表現力）の育成＞

Ｐ　◇　課題意欲を高め、見通しを持たせる単元構成

Ｄ　１　「めあて」と「まとめ」の整合性

２　思考のアクティブ化（児童主体）

・対話的な学びの充実

３　「書く、話す、話合う」過程の確実な位置づけ

４　適用問題の時間の確保

５　まとめの充実（自分の言葉でまとめる）

Ｃ　１　ノートにめあてとまとめが書いてある。

２　ペアやグループ、全体での話合い

３　週案を活用した教材研究と反省（月曜日に提出）

４　授業内での定着の確認、ﾜｰｸﾃｽﾄ（全国平均との比較）や県定着確認ｼｰﾄ（目標値との比較）の活用

Ａ　◇　ワークテスト全国平均以下の子どもへの個別指導、定着確認シートの課題がある内容の補充指導

学級力

＜共助・協働・コミュニケーション力の育成＞

Ｐ　◇　Ｑ－Ｕテストや学級力アンケートをもとにした学級目標作り（学級の基盤づくり）

Ｄ　１　生徒指導の機能を生かした授業

２　「なかたく（なかよくたくましく生きる）タイム」による自己効力感の向上

３　「なかよくたくましく生きる」の理念を生かした活動

４　「スマイルタイム」やよさの可視化（学級力）を通した自治的な学級づくり

５　ＳＳＴ（ｿｰｼｬﾙ・ｽｷﾙ・ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ）等による人間関係力の育成

Ｃ　１　Q-U ﾃｽﾄ（年２回）、学級力ｱﾝｹｰﾄ（学期１回以上）、学校アンケートを生かした授業

２　学級目標で引き上げたい内容を意図的に設定した「なかたくﾀｲﾑ」の工夫（場面・内容・形態）

３　学級力アンケート（学期１回以上実施）

学級目標や「なかたく」の意識付けや振り返り

４　学級力アンケートのレーダーチャートの掲示

５　ＳＳＴの実施（学期１回以上）

Ａ　◇　学級力の成果と課題の話合い・達成感と意欲の喚起

学力向上を支える基盤づくり

●「塩川小家庭学習ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ」の活用と習慣化

（学年×１０分＋１０分以上）

・家庭との連携

・授業と関連した予習・復習

・週末などに日記や条件作文を書く。（月１回以上）

1~3 年…日記（始め・中・終わりを意識して）

4~6 年…条件作文（定着確認シートを活用）

※既習漢字、原稿用紙の使い方の定着

●全校一斉の読書（火曜日以外の朝）や家庭での読書指導

・目標読書冊数の目安

１・２年・・・・週３冊以上

３・４年・・・・週２冊以上

５・６年、特別支援学級・・・週１冊以上

●放課後学習会の充実

＜基礎基本の定着させる＞

＜ﾚﾃﾞｨﾈｽをそろえる＞

＜積み残しを解消する＞

・「１０の問題」を使った実態把握と個々のめあての設定

●塩川小の重点指導事項の教室掲示・定着

・学習用具をそろえる。

・最後まではっきりと話す。

・人の話をしっかり聞く。